

# 田川にいらっしゃる外国人実態調査

## 報告書

発行にあたって

私たち「福岡県立大学と共に歩む会」は、大学と地域の発展を願い、皆さま方のご協力・ご支援を頂きながら平成4年より27年間活動をしてまいりました。

平成7年（1995年）に南京より第一期の交換留学生在が着任した時から、すでに24年間留学生の支援をさせていただいています。毎日の生活の中で、洗濯機、扇風機、電子レンジなど生活用品の不足に対応したり、会員に医師が複数いることにより病気への対応や、田川・福岡・九州の名所旧跡への案内など、さまざまな事業を展開してまいりました。最初は2～3人の留学生のお世話を余裕をもってやらせていただいていたのですが、最近ありがたいことに15名位の留学生がお出でになるようになって、体制的にも財政的にもその支援は困難を迎えております。

折しも日本は労働者不足、田川にも技能実習生や高度人材の姿がよく見受けられるようになりました。

留学生のお世話の発展形として、これらの方々を含めた国際交流の輪が広げられないかと考え、とりあえず、実態調査をやろうということになりました。外国人への個人的なアンケートはサンプルが39人、いくらか実態が垣間見れる内容となりました。しかし、力も財源のない一民間ボランティア団体の取組、なかなか十分なことはできませんでした。特に企業と交流団体への調査は回答率が悪く、ほとんどアンケート調査の体をなしておらず、今後の公的な機関の調査を期待するしかありません。

この報告書が田川の国際交流の発展の一助となることを記念して発表いたします。

令和元年10月吉日

福岡県立大学と共に歩む 会長 秋吉一明